

次期出雲市総合振興計画の策定状況について

1 次期出雲市総合振興計画策定に向けた取組状況

(1) 出雲市総合計画審議会

【第1回会議】

- ①日 時 令和3年10月21日(木)
- ②内 容 ・出雲未来図の検証結果について
・次期出雲市総合振興計画の策定について

【第2回会議】

- ①日 時 令和3年12月21日(火)
- ②内 容 ・次期総合振興計画策定に向けた取組状況
・「計画の構成、基本理念、市の将来像及び基本方策」(案)
・市民満足度調査及び高校生アンケートの調査結果

(2) 出雲市総合計画推進本部会議

【第1回会議】

- ①日 時 令和3年10月15日(金)
- ②内 容 ・出雲未来図の検証結果について
・次期出雲市総合振興計画の策定について

【第2回会議】

- ①日 時 令和3年12月10日(金)
- ②内 容 ・次期総合振興計画策定に向けた取組状況
・「計画の構成、基本理念、市の将来像及び基本方策」(案)
・市民満足度調査及び高校生アンケートの調査結果

(3) 若手ワーキンググループ会議

【内容】

各部局から選出した、若手職員 20 名によるワーキンググループを設置。関係団体へのヒアリング等を踏まえて、めざす将来像や施策の柱などを検討する。

【概要】

- 第1回会議 10月13日(水) 概要説明、グループワーク
- 第2回会議 11月4日(木) めざす将来像の検討
- 第3回会議 11月16日(火) 施策の「柱」の検討

(4) 若手ワーキンググループによる市長ヒアリング

【内容】

若手 WG メンバーによる市長のまちづくりへの思いや考え方についてヒアリング。

【概要】

開催日 10月22日(金) 10:00～11:00

(5) 若手ワーキンググループによる関係団体ヒアリング

【内容】

様々な団体等の意見を取り入れるため、若手 WG メンバーが市内商工団体、大学等を訪問し、市の課題や今後取り組むべきことなどについて意見聴取した。

【概要】

実施日 11月1日(月)～11月11日(木)

訪問先 島根大学医学部、島根県立大学、平田商工会議所、出雲商工会、
斐川町商工会、山陰合同銀行出雲支店、NPO 法人スサノオの風

(6) 若手ワーキンググループによる島根大学生ヒアリング等

【内容】

若手 WG メンバーが、島根大学学生に「出雲の魅力」、「望むこと」などをヒアリングし、今後のまちづくりのキーワードを探った。

【概要】

実施日 11月2日(火) 14:30～15:30

参加者 島根大学学生 12名(うち、オンライン9名)
若手 WG メンバー 2名

(7) いずも未来ミーティングの動画配信(市長と島根大学学生との懇談会)

【内容】

島根大学の毎熊教授のコーディネートにより、市長が島根大学学生の意見を直接聞く、「いずも未来ミーティング」を開催。

懇談会の様子は市の公式 Youtube にアップし、専用フォームから広く意見を募る。

【概要】

収録日 11月15日(月)

参加者 飯塚市長、毎熊島根大学教授、島根大学学生(12名)

会場 出雲文化伝承館

公開日 12月10日(金)

(8) 職員からの提案募集

<p>【内容】</p> <p>総合振興計画の策定に関する4つのテーマについて、職員からの提案を募集した。</p> <p>【募集テーマと提案数】</p> <p>提案件数 35件</p> <p>①次期総合振興計画の「名称」 14件</p> <p>②まちづくりの将来像 5件</p> <p>③次期総合振興計画の「柱」 2件</p> <p>④盛り込むべき視点、施策、事業等 14件</p>
--

2 「計画の構成、基本理念、市の将来像及び基本方策」

(1) 基本構成

区分	項目	内容
基本構想	◆巻頭	1. 市民憲章 2. 市長あいさつ 3. 目次
	◆総合振興計画策定の考え方	1. 目的・意義 2. 計画期間 3. 計画の構成 4. 市を取り巻く背景 5. 市の概要
	◆まちづくりの方向性・将来像	1. 基本理念 2. 市の将来像 3. 基本方策・数値目標(現計画の「プロジェクト」にあたる内容) ※今回の計画で盛り込む新たな内容: SDGs、人口減少、 自然環境の変化、技術革新による社会への対応など 4. 人口ビジョン 5. エリア別将来像(基本指針)
	◆市民満足度調査等の結果	1. 市民満足度調査の結果 2. 高校生アンケートの結果
	◆資料	1. 各種計画一覧 2. 統計データ 3. 諮問書、答申書 4. 策定経過 5. 審議会委員名簿等
基本計画	◆基本計画の構成	1. 全体構成 2. 施策の体系
	◆基本計画の内容	1. 6つの基本方策の具体的施策内容 2. 数値目標(KPI)

(2) 基本理念

すべての市民がこの計画を推進していくための基本となる考え方である。基本理念については、普遍的なものであると考え、変更する必要はないものとし現総合振興計画「出雲未来図」の基本理念と同じものとする案を提案。



(3) 出雲市の将来像

いずもりよく
「出雲力」で 夢☆未来へつなげ
誰もが笑顔になれるまち

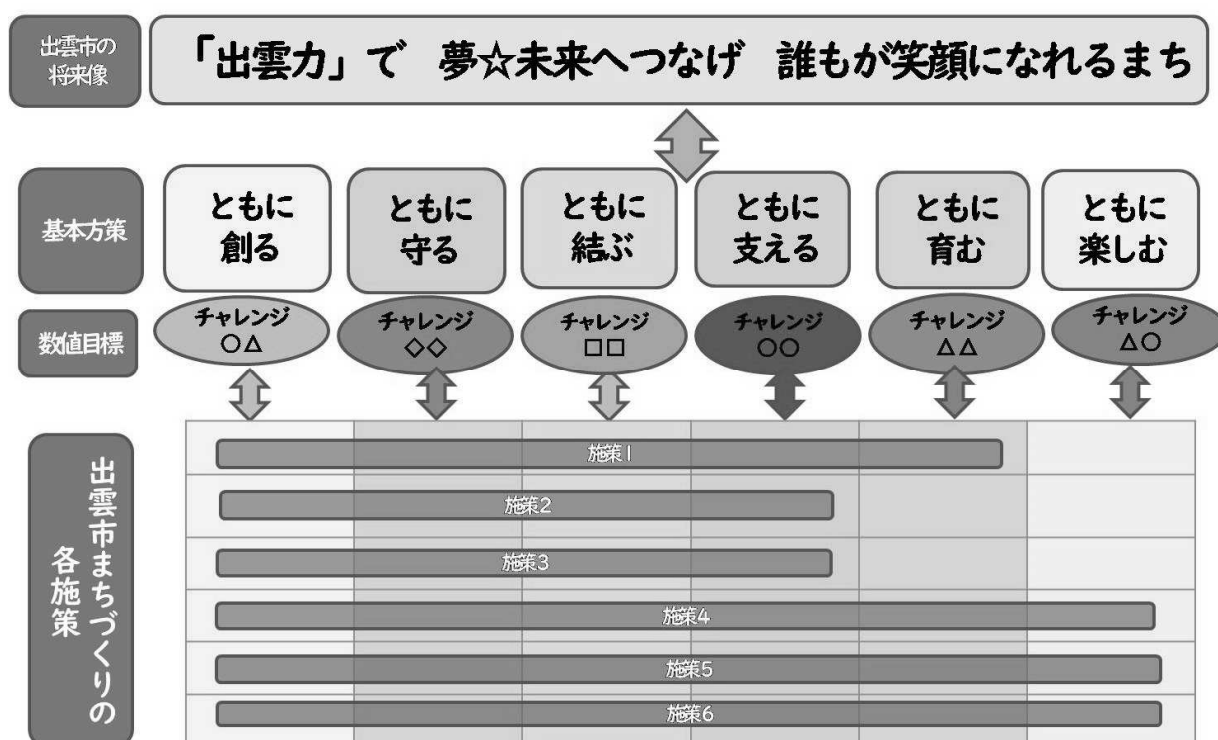
○「出雲力」(いずもりよく)とは

「出雲」の持つあらゆる力を結集したものであり、「出雲」ならではの価値（オンリーワンのブランド力）、そして、「出雲」に誇りと愛着を持ち、人と人とのつながり（ご縁）を大切にする、「出雲」に関係するすべての人の持つ力。

(4) 基本方策及びまちづくりの施策体系図 (イメージ)

まちづくりの基本方策	数値目標	まちづくりの各施策(例)
① ともに創る	チャレンジ〇△	雇用を創る、ブランドを創る、仲間を創る 等
② ともに守る	チャレンジ◇◇	命を守る、自然を守る、暮らしを守る 等
③ ともに結ぶ	チャレンジ□□	人を結ぶ、地域を結ぶ…
④ ともに支える	チャレンジ〇〇	生活を支える、多様な生き方を支える…
⑤ ともに育む	チャレンジ△△	子どもを育む、体を育む、心を育む、技を育む…
⑥ ともに楽しむ	チャレンジ△〇	スポーツを楽しむ、芸術を楽しむ、旅を楽しむ、人生を楽しむ…

まちづくりの施策体系図



※横軸の施策例 : 企業誘致の促進、脱炭素社会の実現、多文化共生社会の実現、DXなど

- 各基本方策に、現在の戦略プロジェクトにあたる数値目標を設定
- 現在の縦割りの方策(柱)ではなく、横断的に対応できる内容
- 将来像を実現するために、出雲市に関わるすべての人たちが、「ともに」このまちを創り、守り、つなぎ(結び)、育み、楽しみ、支えていき、暮らし続けていきたいまちづくりの道しるべとなる方策とし、シンプルな言葉でまとめている。

【計画策定の取組状況】

	若手ワーキンググループによる関係団体ヒアリングについて、農業関係のところに行っていないが、今後行かれる予定があるのか。
1	<p>(回答)</p> <p>農業分野については、ヒアリングは予定していない。農業団体を代表して出席いただいている、委員から意見をいただきたいと考えている。</p>
2	市長と島根大学学生との懇談会の YouTube を見て、計画策定だけではなく、事業展開するときも、若い人の意見を取り入れるといいと思う。（意見のみ）
3	<p>スポーツ分野からも聞き取りをしてほしい。</p> <p>(回答)</p> <p>スポーツに限らず、様々な分野がある。現在実施している、ユーチューブを活用した意見募集や、今後予定している公聴会などで、たくさんの市民のみなさまから意見をいただきたい。</p>

【基本理念、市の将来像及び基本方策等】

1	<p>基本理念は、今までにも何回も聞いたことがあるような言葉なので、もう少し魅力的な理念の言葉を掲げていただきたい。そうすると後に続きやすい。</p> <p>(回答)</p> <p>3つの理念は、合併した際に策定した計画から綿々と生きている普遍的なものであると考えている。委員からいただいた意見を踏まえ、基本理念の内容について再検討する。</p>
2	<p>非常に将来明るい雰囲気、緊迫感も緊張感もない印象を受けるが、実際には市内は厳しい状況もある中、こういった表現でいいのだろうか。</p> <p>(回答)</p> <p>今ある地域課題を一つずつ解決することによって、めざすべき将来像に向かっていく。基本構想では、8年後にめざす将来像、夢の部分を市民のみなさんと共有してみんなで向かっていこうというものにしたい。</p>
3	<p>「ともに」とは誰のことを言っているのか。「ともに」という表現が、客観的すぎて誰にも責任がないように思える。</p> <p>(回答)</p> <p>出雲市に関わる全ての人のことを言っている。出雲市に住んでる方だけではなく、関係人口、交流人口も含めてともに作っていくという意味。</p>

【市民満足度調査及び高校生アンケートの調査結果関連】

1	<p>高校生アンケートで、4割が「一度市外へ出ても、出雲に戻って住みたい」と言っている。Uターン者がなぜ出雲に戻ってきているのか、戻ってきた人の意見を聞くことが必要なのではないか。丁寧に意見をくみ取り、施策に反映していくことが大切。(意見のみ)</p>
2	<p>松江市にはフリースクールがたくさんあるが、どうして出雲市にはないのか。</p> <p>(回答) 出雲市では、教育支援センターを市内3か所で開設し、不登校の子どもに対していろいろな指導をしながら、徐々に学校に通えるよう、支援をしている。</p>
3	<p>市民満足度調査、高校生アンケートのどちらとも、交通インフラの充実を求める声が多い。課題が多々あるが、どう考えているのか。</p> <p>(回答) それぞれの地域の課題を集め、課題を解決するための協議会を設置し、検討を始めている。限られた財源の中で、地域にとってどのような形がいいのか、今後検討していきたい。</p>
4	<p>交通関連の充実に関しては、通勤時間に合わせたバスの運行や、乗合バス、外国人のニーズに合わせた公共交通機関等、多くの意見あり。</p> <p>(回答) 様々な立場の人のニーズを念頭に置きながら、運転手不足など公共交通を取り巻く課題を総合的に勘案して取り組む。</p>

【その他】

1	<p>出雲縁結び空港の国際線の定期便就航と、工科系大学の誘致を計画に盛り込んでいただきたい。</p> <p>(回答) 国際線の定期便就航については、数年前から島根県とともに動いている。コロナ禍が明ければ、新たな国際定期便の開通に向けて動けるのではないかと考えている。 高等教育機関の誘致については、少子化により学校経営が厳しい中ではあるが、今後も継続してアンテナを張っていきたい。</p>
---	--

4

今後の予定（令和3年度）

1月28日（金）	第3回総合計画推進本部会議
2月 8日（火）	第3回総合計画審議会
3月～	公聴会（市内14か所程度）
3月上旬～中旬	<u>議会（各常任委員会）との意見交換会（※）</u>

※3月議会の各常任委員会終了後（1時間程度）、議員の皆様と総合振興計画（素案）に関する意見交換会を実施したいと考えております。